

# Formula Blue

YAMAHA 5L KARTING

全日本カート選手権 FS125 部門東地域第3戦茂原大会  
 ■開催日：6月30日～7月1日  
 ■天候：晴れ ■参加台数：29台

## 全日本カート選手権フル参戦初年度の 山中秀馬が3位、初表彰台を獲得！

全日本カート選手権 FS125 部門東地域第3戦茂原大会が、6月30日～7月1日の2日間、千葉県・茂原ツインサーキット東コースで開催された。全日本開催コースの中で、最も高低差の大きな茂原東コースは、例年強烈な暑さに見舞われることが多く、ドライバーの体力を消耗させる厳しいコースとして知られている。今回もレースウィークの金曜日に関東甲信地方の梅雨明けが宣言され、連日の好天も影響して気温が上昇した中でのレースとなった。

### Time Trial/Qualifying Heat

土曜日午後に行われたタイムトライアルは非常に僅差の戦いとなった。積極的にタイムアタックを繰り返した木下藍斗、山中秀馬の両選手は、山中がトップから0.195秒差の総合7位、一方の木下も、トップから0.278秒差の僅差で総合10位を獲得する。29台中28位までが、トップからの差が1秒以内と、ハイレベルのタイムアタックとなった。

日曜日に行われた予選ヒートでは、山中はスタートで少し遅れをとるものの、序盤は10番手付近での周回となる。一方、木下は

スタート直後の2コーナーで直前のマシンがスピンしたため、それを回避しようとストップを強いられ、再スタートするものの最後尾まで順位を下げてしまう。その後、7周目まで走行を続けるが、決勝での追い上げを期してリタイヤとなった。

山中は中盤以降、本来のスピードを発揮し順位を挽回していく。最終ラップにはヘリポートコーナーで前車をかわし、7位まで順位を戻してチェッカーを受けた。決勝は山中が4列目の7位、木下は13列目の25位からスタートとなる。

### Final Heat

迎えた決勝ヒートは30℃以上の気温の中、24周の長丁場のレースとなる。スタート直後の8コーナー手前で2台のマシンが絡んだクラッシュが発生したため、レースは赤旗で中断となり、一からのやり直しとなる。そのリスタートをうまく決めたのが山中だった。山中は1周目に5番手まで順位を上げると、2周目には4番手、4周目には3番手と次々とパッシングを繰り返し、表彰台圏内へと浮上して来る。さらに、後方でポジション争いをしている間に、ややリードを広げることに成功し、単独走行となる。

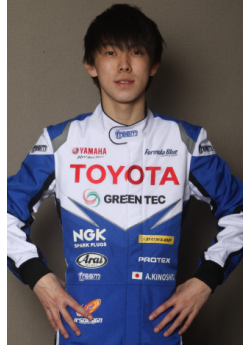
「オートバックス」全日本カート選手権 OK部門第5・第6戦



後方からの追い上げとなった木下も、良いペースでの周回を続け、着実に順位を挽回していた。しかし、10番手まで上がったところで、S字で目前の2台が絡みスピン。コース上を塞いだため、やむを得ずコース外を走行し、順位を落としてしまう。この時点で残りの周回数は8周と少なく、再び10位まで挽回したところでチェッカーとなった。不運に見舞われた木下だが、このレースでファステストラップを獲得し、毎戦のスピードがリザルトに結びつけば優勝できる可能性もあるだけに残念な結果となった。

安定したペースで3番手を走行する山中は、後続の接近を許すことなく、3位でフィニッシュを飾り、全日本初の表彰台を獲得した。

## 30 Formula Blue チーム KBF



木下 藍斗 (チーム KBF/ 神奈川県出身 /17 歳)

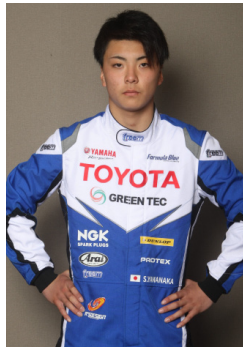
タイムトライアルは単独でもタイムが出せると思いアタックしていたのですが、スリップを使ってタイムを出した人たちとはかけ離れたタイムになってしまい、失敗しました。予選のスタートは良かったのですが、2コーナーで目の前の車がスピンし、それを避けるときに止まってしまいました。決勝は、スタートを決め追い上げていたのですが、S字で目の前で2台が絡んでしまい、逃げ場がなくコース外を走るようになりました。そのときにタイヤがゴミを拾ってしまい、ゴミが取れるまではグリップせず、10位まで上がるのが精一杯でした。今回は、TTの作戦ミスが一番大きかったので、次回の最上川はTTでの位置取りをしっかりと考えて取り組みたいと思います。

チーム代表：柳沢 和広【コジマブレンファクトリー】



予選ヒートのオープニングラップで、理由はともあれ当たって止まってしまい、そこで歯車が狂ってしまいました。練習からタイムは出ていたので、自信を持っていけということ伝えて決勝に送り出しました。スタートポジションを考えると、順位としては頑張ったと思います。今年一緒のチームとなって見ていると、タイムは出ていて、普通にレースをしていけば毎回良いポイントを稼げる選手です。ただ、不可抗力にせよ順位を落として追い上げて終わるという内容が変わっておらず、クリアすべき課題はそこだけです。スピードが結果に結びついてほしいです。もうシーズンは半分を終えましたが、今後に期待しています。

## 50 Formula Blue BEMAX



山中 秀馬 (BEMAX/ 茨城県出身 /16 歳)

タイムトライアルは7位といつもより良かったのですが、予選は前半苦しく順位を落としてしまいました。しかし後半にはペースも上がり7位までは戻せました。決勝は1回目のスタートは悪かったのですが、仕切り直しとなった2回目のスタートはうまく決めることができました。そこから少しずつ追い上げ、前半で後ろを引き離す事ができました。前には追いつけなかったですが、3位という結果は次に繋げられる良い結果だと思います。最上川はまだ走ったことはないですが、練習にも行きますし、また結果が出るように頑張ります。

チーム代表：小野尾 司【BEMAX RACING】



茂原は地元で好きなコースのようで、練習から気持ちよく走っていました。ただ、速い選手たちとは0.1~0.2秒の差はあったので、それをどう詰めるかという課題に取り組んでいました。決勝を良いペースで走れたということは、タイムトライアルでももう少し前に行ければ、さらに良い結果が残せたと思います。我々もやっと開幕できたという感じですし、これをきっかけに本人が自信をつけてくれれば嬉しいです。成績は上がってきて、本人も手応えは感じていると思うので、今回の結果でドライバーがどう変化するか楽しみです。今回は運も良かったと思いますので、次は運ではなく自分でレースを作れるように頑張ってもらいたいと思います。

### 全日本カート選手権東地域第3戦 RESULTS

Pos.	No.	Driver	Team	T.T.	Q.H.
1	93	大草 りく	LCT by NUTEC	42.832 ①	①
2	12	高口 大将	Drago Corse	42.874 ②	②
3	50	山中 秀馬	Formula Blue BEMAX	43.027 ⑦	⑦
10	30	木下 藍斗	Formula Blue チーム KBF	43.110 ⑩	⑳

### 全日本カート選手権東地域ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	Points
1	高口 大将	Drago Corse	78
2	大草 りく	LCT by NUTEC	71
3	大木 一輝	KP-BUZZ	69
7	山中 秀馬	Formula Blue BEMAX	44
14	木下 藍斗	Formula Blue チーム KBF	25

## EVENT CALENDAR

	East	Rd.1 22/Apr. MOTEGI	Rd.2 3/Jun. HONJO	Rd.3 1/Jul MOBARA	Rd.4 5/Aug. MOGAMIGAWA	Rd.5 9/Sep. SUGO	FINAL 18/Nov. SUZUKA
West		1/Apr. BIWAKO	20/May NAKAYAMA	17/Jun. APG	15/Jul. MIZUNAMI	26/Aug. KOHBE	